

C 技能別日本語プログラム 活動・ユニット案 「自己アピールを書こう」

1 対象生徒・授業(科目)

対象生徒	年齢 16歳 学年 高校1年生 滞日期間 4年目 日本語の力：ステップ（5） 母語の力：ステージ（D） (文科省「ことばの力のものさし」)
授業・科目名(例) (日本語 II)	クラス規模：クラスレッスン 教科等との関連：キャリア教育 外部支援の有無：なし ただし、多様な職業につく方に協力いただく

2 プログラム概要

プログラム	C 技能別日本語プログラム 中心となる技能：話す(インタビュー・プレゼンテーション)
時間	(50)分×(3)回
活動名	自己アピールを書こう
目指す生徒像	(主に該当するもの) (3) 社会的存在として自己の目標をもち、粘り強くキャリアを切り開く生徒
目標	(日本語教育・指導が育成を目指す資質・能力の3領域に関し、目標として具体化) (1) 自身の性格や行動の仕方等の特徴について、適した語彙、表現を選択して、自己アピールとしての確に自分を説明することができる。(知識・技能) (2) 相手の求めに応じて、自分をアピールするのに適したエピソードを選択し、その取り組み内容、結果、感じたことを、自身の良さが伝わるように具体的に話したり書いたりすることができる。(思考・判断・表現力) (3) 自己理解を深めて面接に活かそうとするとともに、クラスメイトの良さに目を向け、互いに認め合うことができる。(学びに向かう力・人間性)
言語事項 (語彙・表現、文法)	談話構造： 長所→エピソード(内容・結果・気持ち)→入学/入社後に対する意気込み 機能： 説明する(自分の長所について具体的なエピソードを示して説明する) 私/〇〇さんの長所は～ところです エピソードとして～ 具体的には～という経験をしました 言い換えると～ なぜかという～からです。 語彙・表現： ・履歴書の自己アピールに関する語彙：経験、体験、取り組み、活動、努力、結果 ・性格・人柄を表す語彙：勝気、真面目、陽気、親切、几帳面、慎重、大胆、穏やか、活発 ・行動・態度を表す表現：悩まない、忍耐強い、落ち着いている、集中力がある、自信がある、柔軟性がある、行動力がある、判断力がある、責任感がある ・対人関係に関する表現：ユーモアがある、友達思い、リーダーシップがある、協調性がある ・「ジョハリの窓」活動の語彙 解放、盲点、秘密、未知
主な活動	第1時 「ジョハリの窓」活動で、互いの性格や長所について話し合う。 第2時 履歴書の自己アピール文例を参考に、自己アピール文を書く。 第3時 自己アピール文を紹介し合い、自身の進路について見通しをもち、相互の良さについて意識する。
活動の工夫	①自己アピールでどのような内容を書くか、モデル文を見ながら検討できるようにする。 ②性格等に関する語彙・表現については、生徒が良く知る、アニメなどのキャラクターを例に、理解を促す。また、その行動やエピソードと関連付けて表現できるようにする。

	③「ジョハリの窓」の活動を通じて自己認識を形成するとともに、認識した自分を表す表現を学ぶ機会とする。
教材・教具	<ul style="list-style-type: none"> 性格を表すことばの対訳表を用意する。 実際の履歴書や志望理由書のモデルを用意して、どのような内容・書き方が説得性が高いか、参考することができるようにする。 履歴書等、エントリーするための書類や書式を準備し、それを利用して自己アピールを書く。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 書いたアピール文が学んだ語彙・表現を適切に利用し、長所・理由・今後の意気込みで構成されていたか。 アピール文を書くための話し合いや書いた文で、自身の良さを伝えるために、高校での取り組みを具体的に伝えることができたか。 ジョハリの窓の活動や、自己アピールに関する話し合いで、相互の長所について認め合い、それを進路選択においても生かそうとしていたか。
対象・実施条件による調整のアイデア	<ul style="list-style-type: none"> 母語等の力が高く、翻訳ツールが使える場合は、性格等を表す表現については、対訳表の語彙・表現に限らず、より適した語彙・表現を利用することもできる。 「国語表現」の書く活動や「総合的な探究の時間」のキャリア関連の授業で、同様の活動がある場合は、その前に事前学習として実施する。

3 活動展開

第1時	
活動	○教材・教具
<p>1 本時の目的を知る。 自己アピールを書くこと、そのために自分について深く知ることが重要であることに気づく。</p> <p>○願書の自己アピール部分の例</p>	<p>活動参加のための言語運用例（目標の語彙・表現等）</p> <p>T: 就職活動や進学願書に、何を書けば良いと思いますか。 S: 高校でがんばったことや経験したこと、自分ができることか長所とか。自分のいいところ。 T: 高校で努力したことや活動、性格など、自分のことを説明してアピールしたいですね。（願書の例を示す）</p>
<p>2 自己アピールで利用できる語彙を学ぶ。 ○性格を表す語彙リスト ・アニメや漫画の主人公を例に、その行動から性格を表現する。 ・性格を表す語彙を、リストで確認する。</p>	<p>T: ○○はどんな性格ですか。どうしてそう思いますか。 S: ○○は、行動力があり、仲間思いだと思います。（エピソード）からです。</p>
<p>3 自分の性格を知る ＜ジョハリの窓の活動＞</p> <p>①「ジョハリの窓」の活動の仕方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分に性格について、「性格を表すことば」から適切なものを書く。 友だちから自分の性格の語彙を選んでもらう。 自分と相手が書いた性格を「解放の窓」、相手だけが書いた性格を「盲点の窓」、自分だけが書いた性格を「秘密の窓」に書く。 	<p>S1: わたしはどんな性格だと思いますか。 S2: あなたは陽気な性格だと思います。 S1: どうしてそう思いますか。詳しく教えてください。（聞き直し：もう一度聞かせてください。） S2: なぜかという、いつも、楽しいことを考えているし、みんなを笑わせるのが好きだからです。</p> <p>S1: ぼくは、いつも「うるさい」です。 T: 「うるさい」のは、悪いことだけではないですね。</p>

<p>②グループメンバー（5名）と行う。 性格等について、言い換え方を考えながら、相互に認め合う。</p>	<p>言い換えると？ S2：「元気」とか？「にぎやか」とかですか。 T：元気に活動したり発言したりすることは長所ですね。言い換えると、「活発」になります。 S2：はい、そう思います。S1さんの長所は「活発」なところですよ。</p>
<p>第2時</p>	
<p>1 自己アピールに書く内容について話し合う。 ○履歴書の例（記載済みで、自己アピール欄の内容を参照できるものを準備）</p> <p>2 自己アピール欄に書く、自分の長所とそれがわかるエピソードについて紹介し合う（口頭）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師からの問いに対して、長所とその理由について話す。 ・アピール文の構成を確認する。 長所 理由：エピソード（取組内容・結果・気持ち） 入学・入社後に対する意気込み <p>3 自己アピール文を書く。 クラスメイトに聞いた「自分」も踏まえながら、自分の長所を具体的なエピソードとともに書く。</p>	<p>T：自己アピール欄に、何を書きたいですか。 S：長所とその理由を書きます。 T：理由としては、何をかけばいいですか。 S：高校でがんばったことと経験したこと。</p> <p>T：自分の長所はどんなところだと思いますか。 S：責任感があるところです。 T：「自分は責任感がある」と思う理由を、具体的に教えてください。エピソードとして、どんなことがありましたか。 S：文化祭の映画作りです。具体的には、夏休みに毎日、学校へ来て、頑張りました。 T：熱心に映画制作に取り組んだんですね。出来上がった映画はどうでしたか。 S：思い通りにできましたし、校長賞をもらいました。 T：すごいですね。どんな気持ちでしたか？ S：途中で失敗して大変だったけど、うれしかったです。リーダーとして、みんなのために責任をもってがんばることが大事だという経験をしました。</p> <p><アピール文の例> 私の長所は責任感があるところです。高3の文化祭で、リーダーとして映画製作を経験しましたが、思い通りの映画ができました。その結果、校長賞を受賞しました。最後までみんなのためにがんばって良かったと思います。これからも、責任をもって行動したいと思います。</p>
<p>第3時</p>	
<p>1 自己アピールを発表する。 自分の書いた自己アピールを、クラスメイトの前で発表する。</p> <p>2 振り返り クラスメイトの報告を聞いて、活動の振り返り、気づきを書く。</p>	<p>S1：自己アピール文を紹介します。感想や質問をお願いします。（自己アピール文を読み上げる） S2：エピソードを聞いて、〇〇さんの長所がよくわかりました。他にも、～が長所だと思いました。</p> <p>T：自己アピールを書いて気づいたことや思ったことは何ですか。 S1：文化祭でがんばったことを、詳しく書くことができました。 S2：友だちのアピールを聞いて、自分の性格をよく考えました。 S3：エピソードがあると、自分の長所が伝わりやすくなると思いました。</p>

4 教材・教具の例等

○ジョハリの窓での活動イメージ

性格に関する語彙リストを見て、自分の性格と相手の性格を書きだし、交換できるようにする（左）。
それを、4つの窓に区切った枠のワークシートに貼り付け、互いの性格について話し合う（右）。

自分
①優しい
③面白い
⑦親切
⑩大胆
⑭落ち着きがある

相手
①優しい
③面白い
⑥悩まない
⑱責任感がある

(A)解放の窓 自分も相手も知っている自己 ① ③	(B)言点の窓 自分は気づいていないが、他人は知っている自己 ⑥ ⑱
(C)秘密の窓 自分は知っているが、他人は気づいていない自己 ⑦ ⑭ ⑩	(D)未知の窓 誰からもまだ知られていない自己